

「ふれあい直売所」の授業について

1 はじめに

次の2点を基本に道德の授業を考えました。

①指導書に掲載されているねらいや発問例を活用する。

②基本的な授業展開

導入 極めて簡単にする。「今日は〇〇について考えます。」程度とする。

展開前半 読み物資料は教師による範読

発問は、資料の内容を理解するための発問、資料から考える道德的価値について考える発問の2つとする。

展開後半 発問は、生活の振り返りから道德的価値について考える発問1つとする。

まとめ 振り返りをする。「今日、学習したことで大切だと思うことを書きましょう。」

2 授業展開

(1) 教材名 ふれあい直売所 / (2) 主題名 きまりを守る社会

(3) 内容項目 C-(10) 遵法精神、公德心

(4) ねらい きまりの意義を理解し守ることで、自他の利益を重んじ、よりよい社会をつくろうとする実践意欲を育てる。 (1)～(4)は指導書より

(5) 発問内容

<資料からの発問>

発問1 p60 ㉔5～㉔6 妹に言われたあの言葉が、こころのどこかに引っかかったままだった。
㉔12 完全に妹の言葉をぬぐい去ることはできなかった。

①妹に言われたあの言葉とは、どんな言葉でしたか。

→ ペアで確認した後、全体で確認する。

②私はもやもやした気持ちになっています。なぜでしょうか。

→ ペアで交流する。全体で交流する。

発問2 p61 ㉔8～㉔9 その笑顔を見たとき、私のもやもやした気持ちは一気に晴れた。

① どうしてもやもやした気持ちが一気に晴れたのでしょうか。

→ 道德ノート「考えてみよう」に書く。

→ 班で交流する。その後、全体で交流する。

道德ノート「友達の意見や話し合いをメモしよう。」を活用する。

良いと思う意見、疑問に思う意見、気になる意見などをメモするよう指示する。

<生活の振り返りからの発問>

発問3 次のようなことがなかったか振り返りましょう。

きまりを守らなかったことで、誰かに迷惑をかけたり、嫌な思いをさせたりした経験
誰かがきまりを守らないことで、自分が迷惑を受けたり、嫌な思いをしたりした経験

→ 道德ノート「自分に+1」に書く。

A: エピソード(いつ、どこで、どのようなこと)、その時の思い、今の思いや考え

B: みんながきまりを守るようにするには、どんなことを大切にしていけば良いか。

→ 班で交流する。その後、全体で交流する。

Aについては、言いにくい内容もあるだろうから、発表できる人だけ。

Bについては、必ず全員が発表する。

3 おわりに

ぜひ、実践していただき、成果と課題を共有したいものです。